

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 産業科学研究所

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分 1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項 目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 部局予算の組み替えにより、独自に RA 予算を確保し、博士後期課程学生 32 名(76 名中、JSPS 特別研究員等 44 名)への経済的支援 100%を達成したことが評価できる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 世界最大のエレクトロニクス研究機関である imec(ベルギー)内に大学機関としては世界初となる ISIR imec Center を平成 29 年 2 月に開設したことが評価できる。
【産学連携】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 既設の企業リサーチパークを拡張し、新規 6 社の入居があり、稼働率 93%を達成したことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 定例記者会見などの積極的な情報発信の結果、報道件数が 543 件と H27 年度(254 件)に比較して倍増(2.14 倍)していることが評価できる。
【グローバル化】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。 産研における研究教育活動の支援のため、基金「産業科学研究所研究教育支援事業」を設置したことが評価できる。